

いごまやわわ

雅史といごまの未来を創る会

こむらさき雅史プロフィール

1974年 兵庫県生まれ 45歳 一橋大学法学部卒
妻と子ども3人 子育て奮闘中
1997年 環境庁(現・環境省)に入庁
2002年 シラキュース大学(米国) 行政大学院に留学
2007年 在米日本国大使館(ワシントンD.C.)に勤務
2011年 生駒市副市長に就任
2015年 生駒市長に就任



みんなで創る！
日本一楽しく住みやすいまち「いごま」

生駒市長こむらさき雅史です。私が、誰にも負けないこと。
それは、この4年間、徹底して現場に足を運んだことです。

わたしたちもこむらさきさんを応援しています！

西口廣宗さん
南都銀行顧問・後援会長
住宅都市として発展してきた生駒市ですが、これからは単なるベッドタウンから脱し、高山第二工区など経済発展・地域の活性化が求められています。
こむらさきさんなら、生駒の未来のための大切なかじ取りを任せられると後援会長を引き受けました。大いに期待しています。

石田慶子さん
一般社団法人無限代表理事
こむらさきさんの次男は自閉症。そのご縁もあり、障がい者福祉や教育現場での合理的配慮などについて何度も語り合いました。
家では三人のお子さんの良きお父さん。そんな彼だからこそ、生駒市の子育てや障がい者福祉の課題に対し、市民と協力して取り組んでくれるはずですよ。

日野紀代子さん
生駒市介護者(家族)の会会長
こむらさきさんは、生駒市介護者(家族)の会によく足を運んでくださいます。「自分には子育て経験はあるけれど、介護の経験がないから皆さんの経験を聞き、市政に生かしたい。」
市民の声を聴き、市政に生かそうとする真摯な姿勢に感銘を受けました。
「オオムラサキ」という蝶は日本国のシンボル。「コムラサキ」も生駒のシンボルとして、さらに大きく羽ばたいてもらいたいです。

坪井秀樹さん
大阪の民間企業勤務(市内在住)
こむらさきさんとは、「いごま市民は市外でなく、市内で飲もう！」[現役世代の力を結集してまちづくりを楽しもう]という集まりで一緒しています。
まずは自分が率先してまちを楽しもうという現場に足を運ぶこむらさきさんのおかげで、生駒に興味や愛着がわいた、まちづくりに参加するきっかけができた、生駒に友達ができたという人が増えています。

皆さまのお話に耳を傾け、地域課題とその改善策について語り合い、一歩ずつ着実に具体化してきた4年間。

市民の皆様とともに進めるまちづくりをこれからも丁寧に続けていきます。

再来年、生駒市は市制50周年を迎えます。

少子高齢化・人工減少時代、さらに発展を続けるためには、単なる「ベッドタウン」を卒業し、街を活性化する新しい挑戦が不可欠です。

みんなで創る！日本一楽しく住みやすいまち「いごま」。全国のモデルとなる日本一の住宅都市を、みんなで創っていきましょう！

こむらさき雅史

こんなに多くの皆様に応援いただいています！

こむらさきの活動にご支援いただきありがとうございます！ご期待に応え、それ以上の実績を上げられるよう全力で頑張ります！

- | | | | | | |
|---|---|---|--|--|---|
| 西口廣宗
市川勝己
稲森文吉
稲山一八
乾光男
井上良作
上森健寛
奥田由利 | 南都銀行顧問
生駒市老人クラブ連合会会長
生駒駅前南通り商店街協同組合理事長
元奈良県副知事
ベルタウンいごま管理組合理事長
生駒市農業振興協議会会長
元奈良県福祉部長
NPO法人いごま国際交流協会理事長 | 川崎ひろ子
久保昌城
城山圭司
鐵東喬
藤堂宏子
日野紀代子
山田善久
吉川景三 | 生駒市生涯学習推進連絡会会長
生駒商工会議所会頭
生駒市体育協会副会長
生駒市商工会議所常議員参与
前生駒市自治連合会会長
生駒市介護者(家族)の会会長
生駒市商工会議所監事参与
生駒大社総代会会長 | 日本商工連盟生駒地区(生駒商工会議所)
生駒市芸術協会
生駒市芸能協会
生駒市食品衛生協会
生駒市歯科医師会
生駒市土地家屋調査士会
生駒市体育協会 | 生駒料理旅館組合
北小平尾町自治会
(社福) 宝山寺福祉事業団
奈良県市長会
日本労働組合総連合会奈良県連合会(連合奈良)とその産別・関係団体(4月1日現在) |
|---|---|---|--|--|---|

こむらさき市長が皆さんの疑問に答えます！

問 生駒市の財政について

答 生駒市の実質収支は毎年数億円の黒字を確保しており、また、私が就任した平成27年度当初と比して、市の借金にあたる「市債」はほぼ同じ額ですが、貯金である「基金」は平成29年度末で約10億円増加しています。現時点では、健全な財政といえます。
もちろん、少子高齢化などにより、社会保障経費が大きく膨らみ、財政状況は決して楽観できません。今後も、転入促進に加え、産業振興など税収増に取り組み、健全な財政状況にしっかりと取り組んでまいります。

問 いごま市民パワー株式会社について(生駒市による電力会社)

答 いごま市民パワー(株)設立により、
①再生可能エネルギーの普及とエネルギーの地産地消(災害時のエネルギー確保)、
②経済の地域内循環効果と生駒市民の雇用促進、
③収益を子供や高齢者の見守りサービスなどのまちづくりに活用、市民や事業者のまちづくりへの参加の促進
などの効果があり、当面の期間は、市との随意契約も生かしながら、会社の経営安定化を図ります。
また、「生駒市は随意契約により損害を出した」との指摘もありますが、関西電力の標準的な価格に比べれば、いごま市民パワー(株)の電力供給価格は安価ですし、電気料金は契約時期、使用量、時間帯などの諸条件により大きく異なるため、他の自治体と単純比較してもあまり意味がありません。
実際、本件に関する監査請求は却下又は棄却され、生駒市といごま市民パワー(株)との契約に合理性があると判断をいただいています。

来年度は、大阪ガス以外からも電力のバックアップを受け、再生可能エネルギー比率を10%以上に高めます。また、公共施設との随意契約に頼る経営ではなく、事業者への供給拡大や個別世帯への供給の検討を進め、可能な限り早期に経営を安定化させて、収益を市民やまちづくりに一層還元していきます。

問 政党や団体との関係について

答 私は、市長に就任以来、市内の現場や地域の活動に積極的に足を運び、市民の意見を聞いて市政に生かしてきました。特定の政党や団体に属さない市民派・無党派の市長です。
しかし、私の現場主義や市政の成果を多くの政党や団体に評価いただいたこと、また、各政党や団体、その関係者と連携することにより、今後、一層効果的なまちづくりが可能であることから、各政党や団体からのご指導・ご協力を「幅広く」いただき、生駒のまちづくりを加速してまいります。

注：一般的に、政党との関係については、特定の政党に所属する「公認」と、政党から一定の応援を受け、連携する「推薦」などがあります。両者は異なるものなのでご理解よろしくお願ひします。

問 奈良県や国との関係について

答 生駒市では、地元国会議員のご協力のほか、各省庁にいる私の前職(国家公務員)時代の友人の支援・指導も得ながら、適切に市政課題に対応しています。
また、奈良県との関係については、私が市長に就任した時、学研高山地区第二工区、辻町IC、国道168号線バイパス、生駒市立病院の運営など、奈良県と連携して進めるべき行政課題が山積していました。これらの課題を解決するため今後は県との意見交換や勉強会の機会を増やすなど、奈良県や生駒市の課題に協力・連携しながら取り組んでいきます。

問 生駒市役所の職員の仕事ぶり市長と職員の関係について

答 近年、生駒市役所の職員が大活躍しています。「地方公務員が本当にすごい!と思う地方公務員」に生駒市から2人選出されたほか、生駒市の副業促進制度を活用してまちづくりに取り組む職員が大きくメディアに取り上げられるなど、職員の奮闘により、多くの行政視察や講演依頼が殺到する、先進的な自治体として全国でも高く評価されています。
また、私は、職員とのランチ会を行っています。その成果の一例として、職員の自主勉強会がスタートしたほか、職員組合との間で、ワークライフバランスを大切にしながら、地域に飛び出す職員を増やすための協定を締結しています。
今後は、職員との対話をさらに進め、職員の自主・自律的行動を応援します。

H30年度生駒市業績表彰の一覧

問 生駒市立病院について

答 生駒市立病院は開院して4年が過ぎようとしています。現在、16の診療科と11の専門外来を開設し、病床も210床、HCUも全7床を稼働。近大奈良病院や県総合医療センター等、専門性の高い医療機関との連携も強化しています。
救急医療については、市内救急搬送件数に占める市立病院の受入率は24%(約1,000件/4,500件)市内救急患者の受入率は85.2%であり、救急患者を「断らない」という姿勢のもと、市民の安心に貢献しています。
患者数は、外来211.7人、入院128.2人(平成31年度平均)となり、開院当初から大きく増加。病院の収支も、平成31年1月には約1,700万円(経常利益)の黒字を計上、平成31年度からは指定管理者が市に支払う指定管理者負担金(約2.6億円)が毎年納入されます。
今後は、脳神経外科、小児科をはじめとする医師の増加と、地域の病院や診療所との連携強化などに全力で取り組んでまいります。